



発行日 2019年10月30日 53号
 発行 相原まちづくり協議会
 責任者 理事長 土田 恭義
 所在地 町田市相原町 597-56
 電話 042 (774) 2982

相原まちづくり協議会

検索

“竹あかり”と“ミニSL”で 町おこし

相原にぎわい創生プロジェクト^{※1}では、2020年東京オリンピック開催にあわせ町田市が推進する『まちだ〇ごと大作戦^{※2}』に、『竹あかりのまち“あいほら”』(2018.11月～)として取り組んでおります。これは2016年10月さがまちコンソーシアムが開催した『相原魅力づくりコンテスト』で学生が提案したコンセプトをきっかけに、地元で自生する竹をモチーフとした“町おこし”活動です。本年3月30日に相原にゆかりのある大学そして地域の皆様の多大なご協力によりまして、JR相原駅西口広場にて約2ヶ月間[竹あかり]で相原駅

相原にぎわい創生プロジェクト代表 土田 恭義の夜を彩りました。これをきっかけに、7月には小山ヶ丘の市立三ツ目山公園、更に9月10日には、JR町田駅周辺や鶴川での開催イベントから次々とオファーをいただき、『相原の竹あかり』を大いにPRすることができました。現在、その活動の輪がより広がりつつあります。その実施状況につきまして写真を中心に以下ご紹介させていただきます。

※1：相原地域の活性化を目指し、地域の各種団体代表者等を中心に2016年2月設立

※2：2018年の市政60周年からラグビーワールドカップ2019、2020東京オリンピック・パラリンピックへと続く3カ年を「未来を見据えた3年」とした、“夢を実現につなげる”町田市の取組み事業

不思議な竹授業



竹の伐採と運び出し



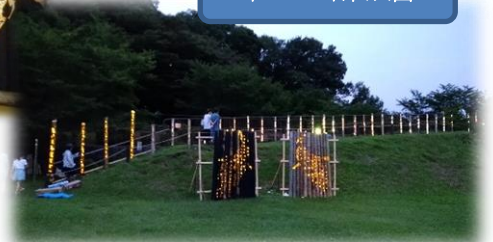
竹灯籠の制作



相原駅前での竹あかり



市立三ツ目山公園



竹楽器コンサートと竹あかりのコラボ



鶴川香山園



『かつてSLが走っていたまち“あいはら”』



地域活性化を目指す第2弾として『かつてSLが走っていたまち“あいはら”』を新たにスター

トしました。JR横浜線が明治41年に開通して今年で111年を迎えますが当時開業した横浜線9駅の中で相原駅が他を圧倒する貨物の出荷量を誇り、SL（蒸気機関車）の石炭台や給水施設を備えた物流の中心地であったことをご存じでしょうか。この歴史的事実を次世代に確実に伝承して行くことを目的に、地域にお住まいの皆さんや地域外の方々にも広く知っていただく取り組みとして着手いたしました。このたび相原地区連合町内会と連名で譲渡申請した当時のC58型ミニSLを町田まちづくり公社から無償で譲り受けることができました。今後地域活性化の強力なツールとして活用すべく取り組んでまいります。乞うご期待ください。

町田街道を疾走した“自転車ロードレース”

東京2020オリンピック・パラリンピック、テストイベントの自転車競技ロードレースが7月21日（日）に開催されました。府中の武蔵野の森公園をスタートして富士スピードウェイをゴールとする、およそ80kmの道のりです。境町会・坂下町会・元橋町会を通る町田街道の約3.5kmを走行しました。相原JA農協付近には大勢の方々が観戦し町田市長も声援を送っていました。先頭の選手達は、12時56分頃、先頭集団、4人の選手が八王子バイパス高架下を90°左折して相模原市へと走り去り、後続の選手がおよそ10分後次々と通りすぎて行きました。大きな事故もなく完走したようです。本番のレースは2日間にわたり男女のレースそれぞれ行われます。多くの方

が安全に楽しく観戦して頂けるように町田サポーター（通称町サポ）として協力しています。（相原まちづくり協議会理事）宮高 勇二



相原の昔話と地名を語る会

2019年10月19日町田地方史研究会（会長 小島資料館館長 小島征幸氏）と相原歴史研究会（代表 松日楽正敏氏）が主催し、堺市民センターホールで行われました。

相原の昔話では、「生き埋めにされたご両部様」「真米谷戸」「恋路坂」の3話が紹介されました。

地名を語る会では、はじめに小島征幸氏より相原町の地名の変遷や、地域の移り変わり、町田市中でも小字の地名が残る地域として説明がありました。また松日楽正敏氏により小字についてより詳しい

説明や、新しく見つけた資料を基に興味深い説明等があり、相原の地名をはじめ歴史や文化の研究が進められています。

相原歴史研究会では、地域にある昔の資料などを記録しています。皆様のご協力を願い致します。



2019年度相原地区連合町内会役員		
会長	井上 正行	中相原
会長代行	横溝 文雄	丸山
会計	松日楽 義隆	大戸
会計	日置 美弥子	境
監査	近藤 修	元橋
監査	高梨 達也	坂下
庶務	井上 善夫	仲町
庶務	岡元 克允	中村
庶務	原 義浩	陽田
庶務	小野 正昭	丸山団地
庶務	渡代 真知子	武蔵岡



相原駅の東西階段下にある『かえる傘』の傘立てを塗装しました。今年は雨の多い日が多く頻繁にご利用頂いていました。しかし残念ながら、壊れた傘の放置や、使用后、返却がされないなど等がみられます。ルールを守ったご利用をお願い致します。

2019年度相原まちづくり協議会役員		
境	須田 仁	
	八木 稔	
坂下	池上 膳	総務
	武村 昌浩	
元橋	土田 恭義	理事長
	小泉 経男	
仲町	宮高 勇二	
	諏訪 正之	
陽田	原 弘明	副理事長
	奥山 忠明	
中村	小林 洋	総務
	川崎 哲哉	
丸山	木下 博明	
	戸田 和美	
丸山団地	守屋 松則	副理事長
	松坂 隆	
中相原	古谷 雄二	
	後藤 志津雄	
武蔵岡	渡代 真知子	
	高橋 八州太郎	
大戸	小林 昭彦	
	石川 不二男	
監査	杉崎 太吉	
	近藤 修	

新理事紹介

相原まちづくり協議会 新理事 高橋八州太郎

今年度、武蔵岡自治会の推薦を受けて、理事を拝命しました。昭和57年に結婚と同時に、武蔵岡団地に入居して以来、町田に住み着いています。仕事が地方に多いせいか、なかなか地元との接点がないなか、4年前に病気を患い、仕事も時間の融通が利く「個人事業主」として、今までと同じような仕事を続けています。仕事では、主にハードな「街づくり」をメインとして、マンションの住戸の改修やある区画の建て替え事業などを中心に進めています。また、単身赴任中に福井で、路面電車を活用した「まちづくり」のNPOを立ち上げ、現在も理事として活動しています。でも、やはり「まちづくり」は地元でやるのが一番という思いがあります。そんななかでの理事のお話をいただき、大変うれしく思っています。何とんでも「ソフトの街づくり」に携われることに感謝します。これからも少しでも多く、参加して皆さんの足手まといにならないよう活動をしていきたいと思ひます。

相原保善会輪投げ大会

10月27日恒例の輪投げ大会が町田市ゆくのき学園で行われ、90歳を超えた方から小学生まで、6名が1チームで18チームが参加しました。相原地区に在住していれば、どなたでも6人でチームを作り参加することができます。



令和元年

11月23日(土)

PM6:30 開演 (6:00 開場)
PM9:00 終了予定

堺市民センター 2F ホール

第22回

歳未たすけあい助成事業
相原まちづくり講演会

歳未たすけあい助成事業

入場無料

主催:相原まちづくり協議会
共催:町田市
後援:社会福祉法人町田市社会福祉協議会
一般財団法人相原保養会



明治・大正・昭和の相原

横浜線物語

サトウ マコト氏

株式会社ニイサンマルクラブ 代表

ニイ SLC58 展示

相原の自由民権運動

松崎 稔氏

町田市自由民権資料館 学芸員

童謡「夕焼け小焼け」物語

守屋松則氏

相原まちづくり協議会 副理事長